

好きなタイプは「ポテトサラダ」 サラダに関するアンケート調査

サラダは一日にどのぐらい頻度は20代が最も少なく、高年消費されているのか。マイボイ代層ほど多くなっている。

スコムは全国の男女1万1599人にインターネットによる調査を実施した。サラダを食べる人のうち「野菜を使って自分や家族が調理する」は85%、「市販のものを買う」が29%、「カット野菜を買う」が29%、「カット野菜を調理する」は19%だった。

サラダを1日1回以上食べる人は36%で、2〜3日に1回食べる人は38%だった。食べる頻度は19%だった。

好きなサラダのタイプは「ポテトサラダ」が61%で最も多く、以下「マカロニサラダ」「ツナサラダ」「グリーンサラダ」「大根サラダ」「海藻サラダ」などが続いた。サラダを食べる人のうち、市販のサラダを購入する人は63%で「カップ入りの調理済みサラダを買う」人は32%、「袋入りの調理済みサラダを買う」人は23%だった。

サラダの購入場所は「スーパー」83%がトップ、次いで「コンビニエンスストア」45%、「惣菜店・サラダ専門店」「デパート」が20%。男性の20〜40代、女性の若年層では「コンビニエンスストア」が多く、「デパート」は女性の高年代層ほど多かった。

市販のサラダを購入時の重視点は「価格」「味」のほか、「野菜や具材の種類が豊富」「鮮度」「分量・サイズ」「賞味期限・消費期限」「原材料」などだった。